# 2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

2018年11月7日 日本製紙株式会社

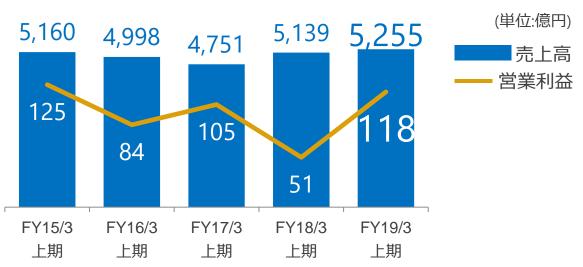




# 連結損益概要

	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比			
	上期実績	上期実績	増減額	増減率		
売上高	5,139	5,255	116	2.3%		
営業利益	51	118	67	131.1%		
経常利益	68	131	63	92.1%		
四半期純利益*	51	<b>▲</b> 60	<b>▲</b> 111	_		

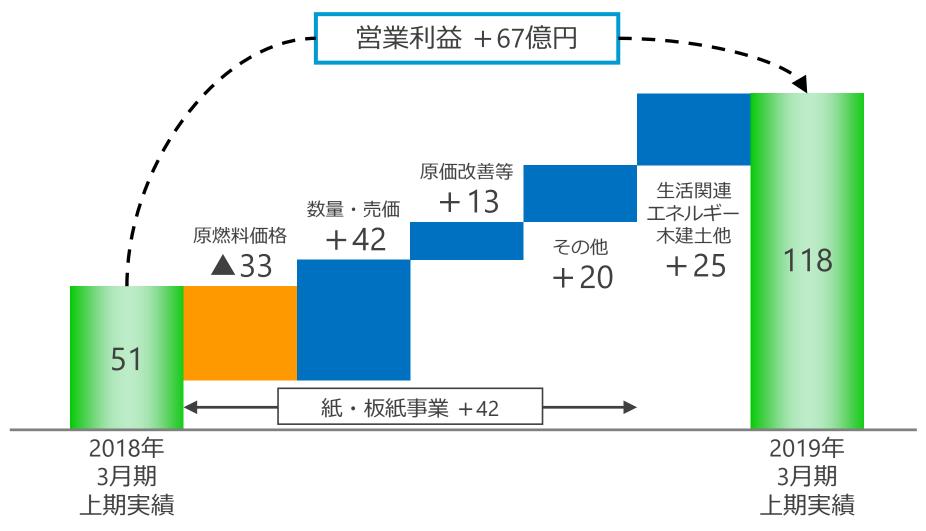
<sup>\*</sup> 親会社株主に帰属する四半期純利益



# セグメント別概要

		売上高		営業利益			
	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	前年 同期比	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	前年 同期比	
紙・板紙	3,650	3,637	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 67	▲25	42	
生活関連	962	1,005	43	66	63	<b>A</b> 3	
エネルギー	78	182	104	16	43	27	
木材・建材・ 土木建設関連	299	280	<b>▲</b> 19	17	22	5	
その他	150	151	1	19	15	<b>4</b>	
合計	5,139	5,255	116	51	118	67	

# 営業利益増減要因

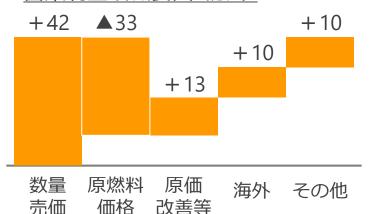


## 紙・板紙事業

#### 売上高・営業利益 (億円)



#### 営業利益増減要因(億円)



#### ○国内事業(洋紙)

新聞の発行部数減少や印刷用紙の広告需要低迷などで国内販売数量は低調に推移。 輸出製品は、価格修正の効果が発現。

#### ○国内事業(板紙)

国内販売数量は、前年同期を下回ったが、 輸出製品は、アジア向けを中心に需要が好 調で、輸出販売数量は前年同期比で8%増 加。

#### ○海外事業

オーストラリアンペーパー、十條サーマルは、それぞれ販売が堅調に推移。 昨年売却した日本製紙USAの影響もあり、 前年同期比で増益となった。

## 洋紙・板紙販売数量

(単位:千t)

	2018年3月期 上期	2019年3月期 上期	前年同期比	
新聞用紙	479	451	<b>▲</b> 5.9%	
印刷用紙	820	768	<b>▲</b> 6.3%	
情報用紙	244	240	<b>▲</b> 1.8%	
その他	187	183	<b>▲</b> 2.3%	
国内	1,731	1,642	▲5.1%	
輸出	215	207	▲3.8%	
洋紙合計	1,946	1,849	<b>▲</b> 5.0%	
段ボール原紙	867	850	<b>▲</b> 2.0%	
紙器用板紙他	179	180	0.8%	
国内	1,046	1,030	<b>▲</b> 1.6%	
輸出	91	99	8.3%	
板紙合計	1,137	1,129	▲0.8%	
洋紙・板紙 合計	3,083	2,977	▲3.4%	

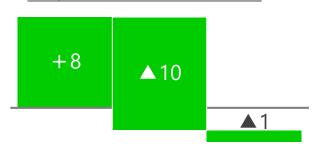
<sup>\*</sup>日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙除く)

# 生活関連事業

<u>売上高・営業利益 (億円)</u>



#### 営業利益増減要因 (億円)



パッケージ 家庭紙 ケミカル ヘルスケア ケミカル

#### ○パッケージ

国内の液体用紙容器は、口栓付き容器の拡 販により果汁飲料・野菜飲料向けを中心に 販売数量は前年同期を上回った。 日本ダイナウェーブパッケージングは、堅 調に推移し、増収増益となった。

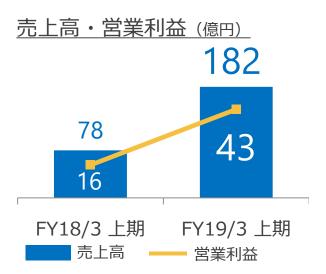
#### ○家庭紙・ヘルスケア

ヘルスケア製品やホテル向け業務用製品な どの需要は堅調で、販売数量は前年同期を 上回るが、原燃料価格の上昇が影響し、営 業利益は前年同期を下回る。

#### ○ケミカル

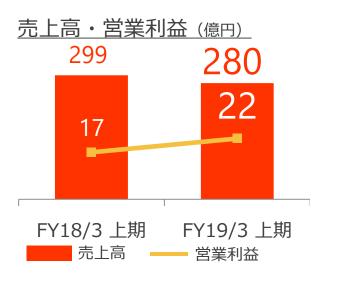
機能性コーティング樹脂や機能性セルロースの需要は堅調だったものの、機能性フィルムの販売数量は前年同期を下回る。原燃料価格上昇の影響もあり減収減益となった。

# エネルギー事業



今年3月に営業運転を開始した日本製紙石巻 エネルギーセンターの発電所は順調に稼働 中。前年同期比で増収増益となった。

# 木材・建材・土木建設関連事業



日本製紙木材は、新設住宅着工戸数が弱含みで推移したことや、原木の販売数量が前年同期を下回ったこともあり、減収減益となった。

AMCELは、欧州向けの販売比率が高まり、 増益となった。

# 連結貸借対照表

	2018年3月末	2018年9月末	前年同期比
資産の部合計	14,299	14,110	▲ 189
現預金	590	436	<b>▲</b> 154
棚卸資産	1,659	1,729	70
その他流動資産	2,656	2,678	22
有形・無形固定資産	7,318	7,114	<b>▲</b> 204
投資その他の資産	2,076	2,154	78
負債の部合計	9,865	9,727	▲ 138
有利子負債	6,936	6,804	<b>▲</b> 132
その他負債	2,929	2,923	<b>▲</b> 6
純資産の部合計	4,434	4,383	▲ 51
うち株主資本	3,934	3,844	<b>▲</b> 90
負債および純資産合計	14,299	14,110	▲ 189
純有利子負債	6,346	6,368	22
ネットD/Eレシオ	1.61	1.66	0.05

# 2019年3月期 業績予想

# 連結損益概要

	2018年3月期 実績	2019年3月期 修正予想	2019年3月期 前回発表予想	増減額
売上高	10,465	10,800	10,800	0
営業利益	176	200	250	<b>▲</b> 50
経常利益	186	230	250	<b>▲</b> 20
当期純利益*	78	▲80	▲180	100

<sup>\*</sup> 親会社株主に帰属する当期純利益

# 2019年3月期 業績予想

# 主要な前提条件

▲紅、振紅服士目281

国内販売	数量	・洋紙 前年同期比 ▲4.1% ・板紙 前年同期比 ▲0.3%							
主要原燃料	古紙	10月の価格動向を勘案							
	原油	75ドル/バレル(ドバイ)							
	石炭	110ドル/ t (豪州炭ベンチマーク価格)							
その他	為替	米ドル 115円/ドル							

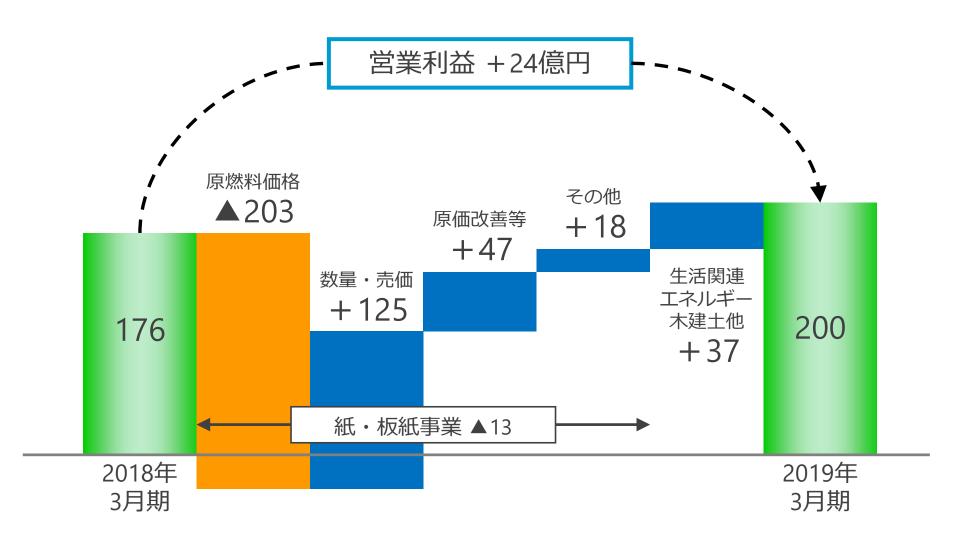
●紙・仮紙販売!	見進し		(参考)	
	2018年3月期実績	2019年3月期予想 (11月7日時点)	前年同期比	2019年3月期予想 (5月28日時点)
新聞用紙	974	910	<b>▲</b> 6.5%	909
印刷・情報用紙	2,130	2,054	▲3.6%	2,082
その他	378	373	<b>▲</b> 1.2%	379
国内	3,482	3,338	<b>▲</b> 4.1%	3,369
輸出	456	447	▲2.0%	464
洋紙合計	3,938	3,784	▲3.9%	3,833
国内	2,066	2,059	▲0.3%	2,108
輸出	194	229	17.8%	200
板紙合計	2,260	2,288	1.2%	2,309
洋紙・板紙 合計	6,198	6,072	▲2.0%	6,142

※日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙を除く)

(単位:千t)

### 2019年3月期 業績予想

# 営業利益増減要因



### トピック

### 紙容器無菌充填システム「NSATOM® (えぬえすアトム)」を開発

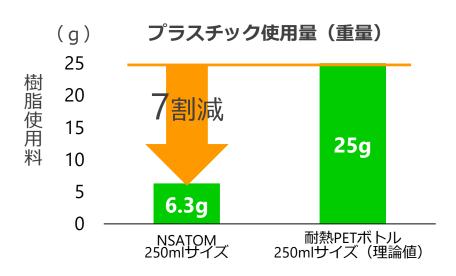
**~固形物・長繊維・高粘度の新飲料対応で世界初の機能を搭載した新システム~** 

#### NSATOM®容器の特徴

- 1. 固形物・長繊維入り・高粘度飲料に対応
- **3.** ポータブル性
- 5. 出しやすい
- 7. プラスチック使用量減

- 2. アイキャッチ性
- **4.** 開けやすい
- 6. 3種の容量バリエーション

#### プラスチック使用量の減





開けやすい







### トピック

### 富士工場に「ミネルパ®」の実証生産設備が完成(2018年10月)

#### ミネルパ®実証生産設備

- 生産能力は年間450 t 以上
- 幅広いサンプル提供を通じて、将来展望が期待できる 事業分野の探索と、スピーディーな用途開発を進める



ミネルパ実証生産設備

#### ミネルパ®とは

無機物と木材繊維を複合化した新素材



#### ミネルパ®の特長

- 地球にやさしい
  - ・カーボンニュートラル
  - ・持続可能な資源
- 人にやさしい
  - ・木から生まれた天然素材
  - ・人体に安全な材料

- 機能性
  - ・消臭
- 抗菌
- ・抗ウイルス ・難燃
- X線遮蔽

- 成形性
  - ・シート
- ・モールド
  - 不織布
- ・パウダー

# 参考資料

日本製紙株式会社





# (参考) 主要指標

### 主要指標

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年3月期		
	3月期 3月期		3月期	3月期	上期実績	通期予想	
売上高営業利益率	2.2%	2.2%	2.4%	1.7%	2.2%	1.9%	
売上高経常利益率	2.2%	1.7%	2.7%	1.8%	2.5%	2.1%	
設備投資額(億円)	485	469	513	728	298	644	
減価償却費 (億円)	614	577	551	579	299	602	
EBITDA(億円)※1	871	831	815	781	432	827	
純有利子負債 (億円)	6,477	5,913	5,880	6,346	6,368	6,300	
ネットD/Eレシオ (純有利子負債資本比率)	1.55	1.47	1.49	1.61	1.66	1.65	
正規従業員数 (人)	12,771	11,741	13,057	12,881	13,098	13,145	
一株当たり純利益(円)	200.27	20.95	72.57	67.80	-52.09	-69.13	
一株当たり配当金(円)	50	60	60	60	0	30	
総資産利益率(ROA)※2	2.2%	2.0%	2.6%	1.8%	1	2.2%	

※1: EBITDA = 営業利益+減価償却費+受取配当金+受取利息

※2: ROA = (経常利益+支払利息) /総資産 \*2019年3月期の通期見通しは、2018年9月末の総資産をもとに算出

### (参考)紙・板紙内需と輸出

## 紙・板紙の内需と輸出

#### <2019年3月期 上期 国内メーカー実績>

(数量: 千t)

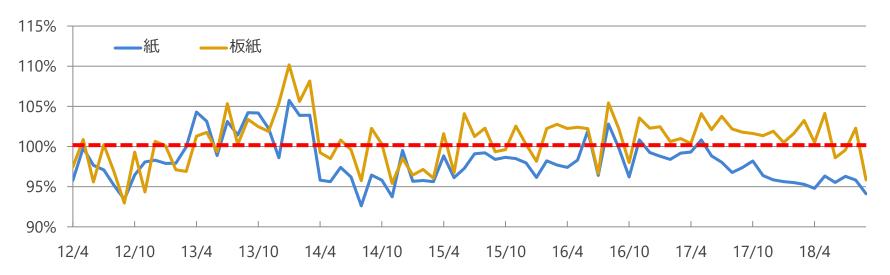
	1_0		-			-11267				
	国内出荷高(A)		輸出(B) 合計(A+B)		輸入(C)		内需(A+C)			
	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)
新聞用紙	1,275	<b>▲</b> 5.9%	0	_	1,275	<b>▲</b> 5.9%	2	<b>▲</b> 62.5%	1,277	<b>▲</b> 6.1%
印刷・情報用紙	3,471	<b>▲</b> 5.0%	421	23.7%	3,892	<b>▲</b> 2.6%	342	▲32.7%	3,813	▲8.4%
塗工印刷用紙※	1,932	<b>▲</b> 7.2%	303	14.4%	2,235	<b>▲</b> 4.7%	93	<b>▲</b> 51.3%	2,025	<b>▲</b> 10.9%
非塗工印刷用紙	885	<b>▲</b> 4.3%	102	75.5%	986	0.4%	26	<b>▲</b> 62.2%	911	▲8.3%
情報用紙	654	0.9%	17	<b>▲</b> 5.9%	671	0.8%	223	<b>▲</b> 10.3%	877	▲2.2%
その他	1,575	<b>▲</b> 2.4%	150	0.5%	1,725	▲2.1%	23	1.3%	1,598	▲2.3%
洋紙 合計	6,321	<b>▲</b> 4.5%	571	16.6%	6,893	▲3.1%	367	▲31.6%	6,689	<b>▲</b> 6.6%
段ボール原紙	4,597	▲0.3%	266	7.4%	4,863	0.1%	24	4.9%	4,621	▲0.3%
紙器用板紙他	1,112	2.0%	13	<b>▲</b> 19.3%	1,125	1.7%	142	1.0%	1,254	1.8%
板紙 合計	5,709	0.1%	279	5.8%	5,988	0.4%	166	1.5%	5,874	0.1%
紙・板紙合計	12,030	▲2.4%	850	12.8%	12,880	<b>▲</b> 1.5%	533	▲23.9%	12,563	▲3.5%

※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

出所:日本製紙連合会、財務省貿易統計

#### (参考)メーカー国内出荷量(対前年)、塗工紙・PPC用紙輸入推移

#### メーカー国内出荷量(対前年)

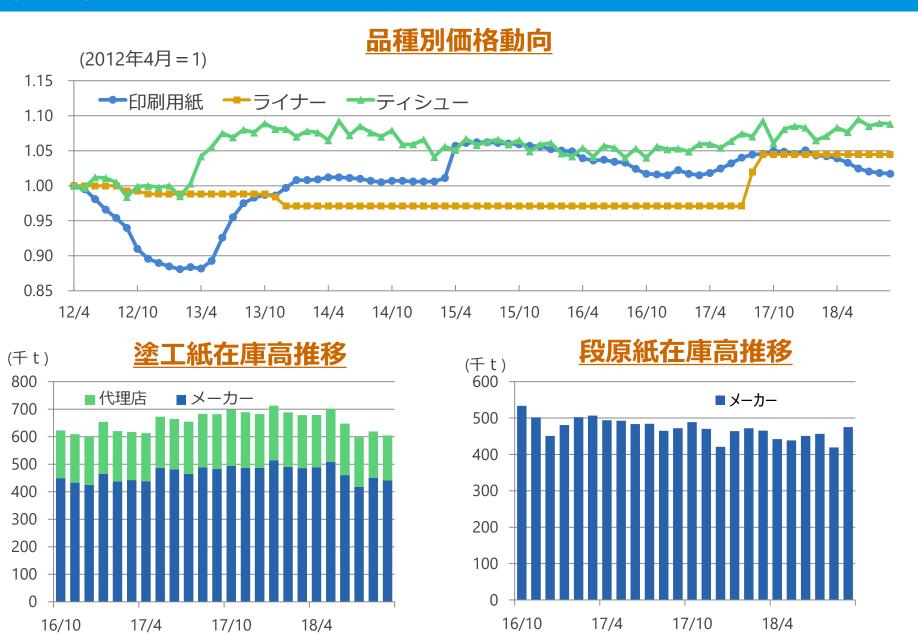


#### <u>塗工紙・PPC用紙輸入推移</u>



出所:日本製紙連合会、財務省貿易統計

### (参考)品種別価格動向、塗工紙・段原紙在庫高推移



出所:日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

### (参考) 主要原燃料価格動向



出所:古紙再生促進センター、関東製紙原料直納商工組合 ほか

## (参考)主要原燃料価格動向





#### <注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に 基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約し たり、保証するものではありません。

# 日本製紙株式会社